

# サウンドテーブルテニス競技申し合わせ事項

開催日：5月21日（土）

会 場：東京都多摩障害者スポーツセンター 集会室

## 競技規則

本項に定める以外は、平成29年度公益財団法人日本障がい者スポーツ協会編「全国障害者スポーツ大会競技規則」により行う。

## 競技方法

- (1) 11ポイント3ゲームズマッチのトーナメントで行う（3位決定戦は行わない）。
- (2) 申込人数が3名の場合は、リーグ戦で行う。

## 時程

- (1) 選手受付 午前9時～9時30分/体育館入口(予定)
- (2) 開始式 午前9時30分開始(予定)/体育館
- (3) 競技開始 午前10時開始(予定)/集会室コート

## 招集方法

招集は、2試合前より行う。試合コートに集合しない場合は、再度呼び出しを行うが、10分を経過しても集合しない場合は、棄権とする。

## ナンバーカード

主催者の用意したもの(緑色)を競技用シャツの背部に付けること。

## 表彰

全競技終了後、体育館(予定)で行う。各区分とも1位、2位、3位にメダルを授与する。

## その他

- (1) 申込書は**様式個人競技-4「卓球競技参加申込書」**を提出すること。
- (2) 使用球は、ニッタクプラスチック製3スターサウンドボール（オレンジ色・公益財団法人日本障がい者スポーツ協会検定球）を使用する。
- (3) JTTA公認以外のユニフォームを着用する場合は、使用球と同系色は避けること。
- (4) 競技規則の詳細については、本大会当日、競技上の注意として説明を行う。
- (5) 競技時間は、進行状況により早まる場合がある。
- (6) 選手が会場から離れる場合は、競技進行に支障のないようにすること。  
※ 大会プログラム、ナンバーカードは事前に送付する。  
※ 障害別参加区分

障 害 区 分		区分番号
視 覚	視力0 から0.03まで、視野5度以内	15

## 【卓球区分解説】

区分番号	障害区分	解説
<b>●肢体Ⅰ(切断、機能障害で立位)</b>		
1	片上肢障害	・片側の upper limb に機能障害がある者 ・片側の upper limb の切断者
2	両上肢障害	・両側の upper limb に機能障害がある者 ・両側の upper limb の切断者
3	片下腿切断、片下肢不完全	・(片側の足部の切断を含む)片側の下腿の切断者 ・一側の股・膝・足関節のうち一または二関節に機能障害がある者
4	片大腿切断、両下腿切断 片下肢完全、両下肢不完全	・(膝関節の離断を含む)片側の大腿の切断者 ・(足部の切断を含む)両側の下腿の切断者 ・一側の股・膝・足関節の全てに機能障害があり補装具なしでは体重を支えきれない者 ・両側の股・膝・足関節のうち一または二関節に機能障害がある者
5	片下腿・片大腿切断、 両大腿切断、両下肢完全	・片側の下腿及び片側の大腿の切断者 ・(膝関節離断を含む)両側の大腿の切断者 ・両側の股・膝・足関節の全てに機能障害があり補装具なしでは体重を支えきれない者
6	体幹	・頸部、胸部、腹部及び腰部(脊柱)のみに変形がある者(脊椎カリエスなどによる体幹の障害が該当し、四肢の機能障害を伴う場合は該当しない)
<b>●肢体Ⅱ(脊髄損傷、二分脊椎、骨・関節機能障害、切断といった脳原性麻痺以外の車椅子使用者)</b>		
7	第8頸髄まで残存	・頸髄を損傷し四肢に麻痺がある車椅子使用者 ・「第6頸髄まで残存」、「第7頸髄まで残存」は出場できるものとする
8	座位バランスなし	・下肢麻痺で、背もたれのない座位の状態であらゆる手の支えなく座ることができない者
9	その他の車椅子	・下肢麻痺で、背もたれのない座位の状態であらゆる手の支えなく座ることができる者 ・脳原性麻痺や脊髄麻痺以外の車椅子使用者
<b>●肢体Ⅲ(脳性麻痺、脳血管疾患、脳外傷等)</b>		
10	車椅子使用	・車椅子を使用して競技をする全ての脳原性麻痺者
11	杖、松葉杖使用	・杖や松葉杖などを使用して競技をする者
12	上肢に不随意運動あり	・意図的な動作に障害がある等の上肢の協調運動障害がある立位者
13	上肢に不随意運動なし	・上肢に協調運動障害のない立位者
14	片側障害	・片側の上下肢に可動域制限や麻痺等の障害があるが、杖や松葉杖等を使用して競技をしない立位者
<b>●視覚障害</b>		
16	その他の視覚障害	・区分15(サウンドテーブルテニス参加)以外の視覚障害者
<b>●聴覚・平衡機能障害、音声・言語機能障害、そしゃく機能障害</b>		
17	聴覚障害	
<b>●知的障害</b>		
18	知的障害	
<b>●精神障害</b>		
19	精神障害	
<b>※ サウンドテーブルテニス</b>		
<b>●視覚障害 ※視力は両眼の和ではなく、矯正後の良い方の視力で判定する</b>		
15	視力0から0.03まで 視野5度以内	